

4月2日 日曜日

9回目の入院

翌日血液、尿、便の検査、レントゲン、CTあり 翌日、午前中タルセバ(エルロチニブ)投薬、サイラムザ点滴 2時間半 レスタミンコーワ錠 10 mg 5錠内服、生食100ml30分、サイラムザ250ml 初回 1時間、生食100ml 初回 1時間(2回目 1時間、3回目以降 10分)点滴 何事もなく終わり、体操などして寝ましたが、夜中にトイレに起きると頭がガンガンして凄くきついなあと思いながらもまた寝てしまいました。いつもの時間にはとても起き上がれず、検温に看護師さんが来られるまで寝ていました。思った通り熱が37.8度ありコロナールを処方されて先生の回診の時お伝えすると、「次回からサムライザを半量にします。」と言われ少し安心しました。

午前中には 36度9分まで下がりましたが、頭痛は続いていました。

7月4日 火曜日 10回目の入院

- 今回の治療は前回サイラムザでネフローゼになってしまったので、血管障害剤は使わずにアリムタという殺細胞性のお薬単剤での治療になりました。
- アリムタは3週間おきに1回注射して後は経過観察となります。
- 入院した日に血液検査、レントゲン、心電図、尿検査、検便の抗がん剤治療前のひととおりの検査を終えると先生から胸水も増えてるし、肝臓、腎臓の値も悪くなってるから、今から胸水を200か300抜きましょうと言われました。そんなに抜くんだと驚きましたが、実際には450ml抜かれました。
- 当日は治療前熱が37.9℃あって、前の薬の副作用で頭や体に発疹がたくさん出ている状態で、このまま次の治療に進んで大丈夫なのかな?と心配しましたが、何事もなく1時間で終わりおかげで熱も下がり食欲も出て夕食もほぼ完食させていただけました。とてもありがたかったです。治療の時間は主人が教会に電話を入れてくれて親先生がずっとご祈念してくださっていました。本当に有難いことで

す。

次の日、胸水は 450 ml も抜いたのでどんなに少なくなってるかとても楽しみにレントゲンの画像を見せて頂きましたがなんとほんの少しだけ減ってるだけでした。

先生に肺にはいったいどれくらい水って溜まるんですか？とお尋ねしたら 4000 ml といわれてまたまたびっくりでした。

でも 1 回に抜ける量は最大で 1000 ml でそれ以上は抜けないことも教えて頂きました。本当にいろんなことを経験させて頂いて教えて頂いて有難いと思わせて頂きます。

ちなみに先生はエコーの画像を見ながら、注射器のようなものを脇の下の後ろ当たりから刺して、抜いてくださいます。痛み止めをするらしくて、最初針が入る時は少しチクッとしませんが、後は殆ど痛みはありませんでした。時間は 30 分位はかかったかなと思いますが、思ったよりすんなりとおわって良かったという印象です。これから受ける方はどうぞご安心ください。

点滴治療から 3 日目の朝

朝から調子が悪く頭が重い、食事後眠くて眠くてゴロゴロしてしまう。検温で 37.4° C。その後 37.6、38.1 と上がり担当の先生がお留守のため、別の先生が解熱剤、抗生剤の点滴、あと食事が取れてないのでブドウ糖の点滴も追加される。熱が下がったのかだいぶ楽になる。

7月8日

朝から頭の重さがある

熱 37.6

10 時に点滴始まる。ブドウ糖 500 ml 2 本抗生剤

2 日便秘のため心配したけど朝食ごよく出て有難い。38.1で解熱剤夕方37まで下がる

楽になる

7月9日

熱 37.7

点滴ブドウ糖 2 本 抗生剤 お風呂で明らかに発疹がひどくなってて看護師さんに見てもらう。今日も抗生剤無くならず発疹はひどくなる

7月10日 月曜 熱7.9で朝から解熱剤もらう。点滴抗生剤は無くなる。
困った

7活11日 火曜

熱 37.9

やっと先生が解熱剤を 3 回出すと。涙が出てしまい発疹を見てもらい
やっと抗生物質が出る。

アセトアミノフェンが500ML だと吐き気がするので 200 ミリ二個にして
もらう。

少し吐き気は残るが吐き気止めで何とか対処する。

熱は 1 日中下がって何より食欲がでたのが、有難い。